



2017年6月期第2四半期

決算説明会

(2016年7月1日～2016年12月31日)

株式
会社 アイ・オー・データ機器

2017年2月16日

設立	1976年1月10日
代表者	代表取締役社長 細野昭雄
本社所在地	石川県金沢市
資本金	35億8,807万円
年商	449億円（2016年6月期 連結）
従業員数	485名（2016年12月末 連結）
事業内容	PC・家電・スマートデバイス周辺機器の製造・販売
事業所	東京、大阪、札幌、仙台、名古屋、広島、福岡
子会社	【台湾】国際艾歐資訊股份有限公司 【香港】艾歐資訊香港有限公司 【USA】I-O DATA America, Inc. 【日本】ITGマーケティング株式会社
関連会社	【シンガポール】I-O & YT Pte. Ltd. 【日本】株式会社デジオン 【日本】クリエイティブ・メディア株式会社
上場	6916 東京証券取引所第一部

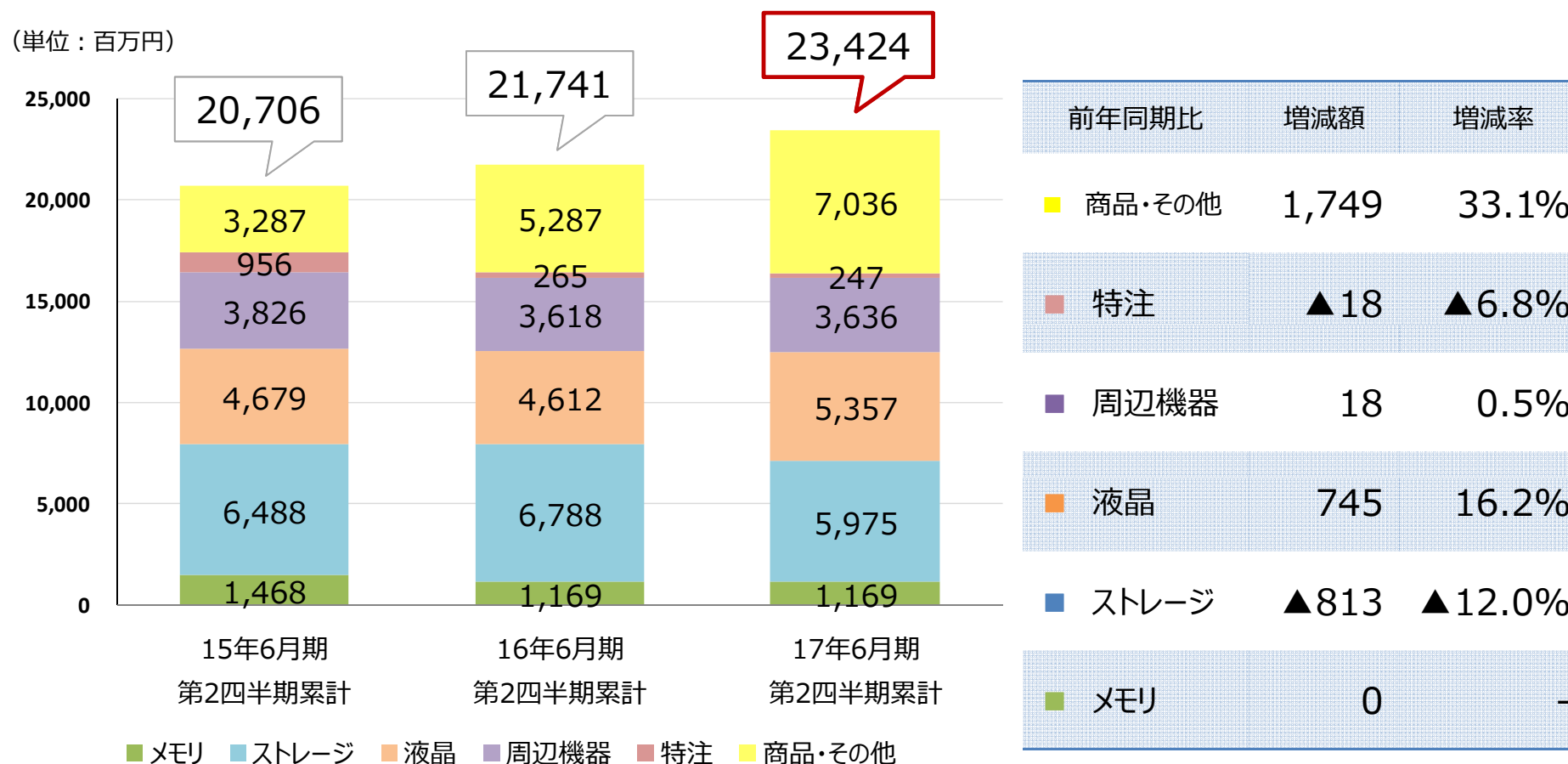
2017年6月期第2四半期 損益計算書

I-O DATA

(単位：百万円)

	2016年6月期 第2四半期累計 金額 (構成比)		2017年6月期 第2四半期累計 金額 (構成比)		前年同期比較 増減額 (増減率)		主な増減要因
売上高	21,741		23,424		1,683	(7.7%)	・液晶モニターのシェアアップ、グローバルブランド商品の販売伸張により増収。
売上総利益	3,473	(16.0%)	5,193	(22.2%)	1,720	(49.5%)	・増収による影響に加え、前年同期比円高基調が輸入部材の調達費用を抑え、大幅増益となる。
販売費及び一般管理費	3,147	(14.5%)	3,873	(16.5%)	726	(23.1%)	・物流費等変動費の他、研究開発費、賞与の増加。
営業利益	325	(1.5%)	1,320	(5.6%)	995	(306.2%)	
営業外収益	222		65		▲157	(▲70.7%)	・為替差損97の計上 (前年同期は為替差益142)
営業外費用	50		167		117	(234.0%)	
経常利益	497	(2.3%)	1,218	(5.2%)	721	(145.1%)	
特別利益/特別損失	-		-		-	(-)	
法人税等合計	157		244		87	(55.4%)	・法人税、住民税及び事業税 (前期189→当期423) ・法人税等調整額 (前期▲32→当期▲178)
非支配株主に帰属する 四半期純利益	6		25		19	(316.7%)	
親会社株主に帰属 する四半期純利益	333	(1.5%)	948	(4.0%)	615	(184.7%)	

◆PC・TV増設市場の不振を、スマートデバイス向けの新提案や液晶モニターのシェアアップ、自社のラインナップを補完するグローバルブランド商品の販売伸張により増収を継続。



2017年6月期第2四半期 貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年6月期 第2四半期末①	2016年6月期 期末②	2017年6月期 第2四半期末③	比較 (③-①)	比較 (③-②)	主な増減理由
流動資産	25,385	23,962	28,792	3,407	4,830	
現金及び預金	5,478	6,323	6,030	552	▲293	
受取手形及び売掛金	10,122	8,563	11,713	1,591	3,150	・増収基調と年末商戦期の需要増を反映。
たな卸資産	8,321	8,020	9,128	807	1,108	・同上
その他の流動資産	1,464	1,054	1,919	455	865	・主にデリバティブ債権（為替予約の評価益）の増加。
固定資産	5,910	5,685	6,246	336	561	
資産合計	31,296	29,648	35,038	3,742	5,390	
流動負債	9,660	8,709	12,143	2,483	3,434	
支払手形及び買掛金	7,049	5,221	8,437	1,388	3,216	・増収基調と年末商戦期の需要増を反映。
短期借入金	-	-	-	-	-	
未払法人税等	192	399	484	292	85	
その他の流動負債	2,417	3,088	3,220	803	132	
固定負債	554	551	500	▲54	▲51	
負債合計	10,214	9,261	12,644	2,430	3,383	
株主資本合計	20,229	20,745	21,499	1,270	754	
その他の包括利益 累計額合計	807	▲418	809	2	1,227	・主に繰延ヘッジ損益の増加。 (前期末▲274→当第2四半期520)
非支配株主持分	44	59	84	40	25	
純資産合計	21,081	20,386	22,394	1,313	2,008	
負債純資産合計	31,296	29,648	35,038	3,742	5,390	

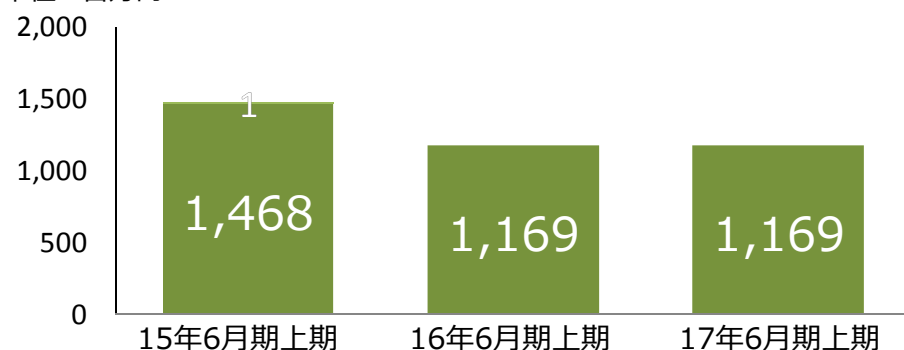
部門別の概況

メモリモジュール：販売台数は伸びたものの販売単価の落ち込みが響き減収。

メモリカード・USBメモリ等フラッシュメモリ：低価格帯モデルのカードを中心に販売が伸び増収。

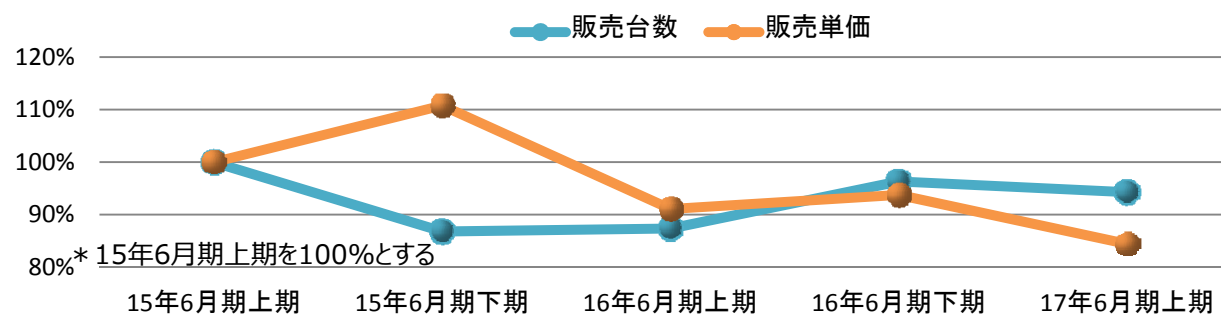
売上高の推移

単位：百万円



前年同期比	増減額	増減率
■ メモリ	0	0.0%

当部門全体の台数・単価の増減推移



前年同期比	増減率
● 販売台数	7.9%
● 販売単価	▲7.3%

※16年6月期上期と17年6月期上期の比較



ストレージ部門

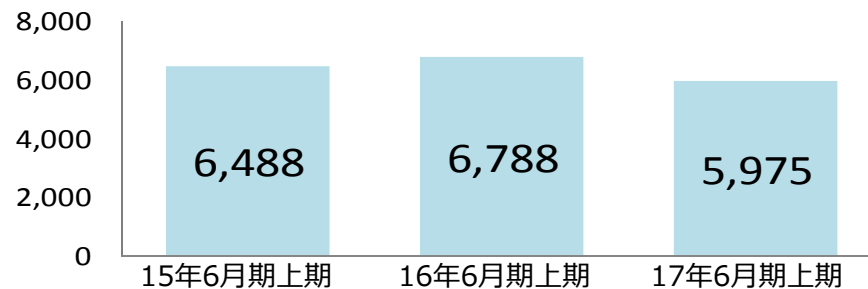
ハードディスク：パソコンやTV関連分野の不振等から伸び悩む。

光ディスクドライブ：音楽CDを直接スマートフォンに取り込める「CDレコ」・DVDビデオをスマートデバイスで視聴する「DVDミレル」の発売に一服感。



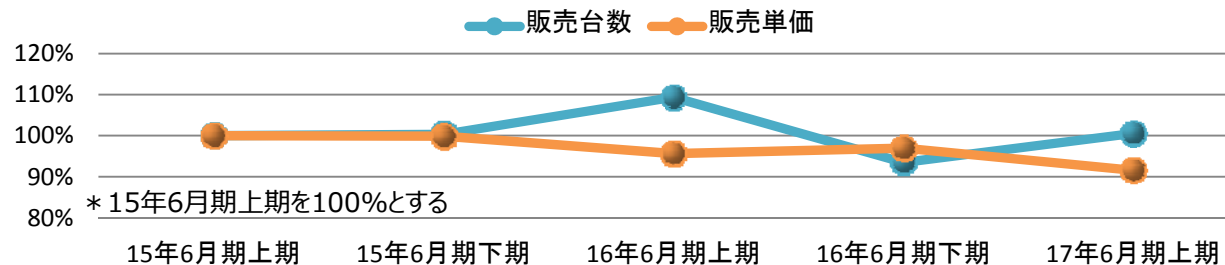
売上高の推移

単位：百万円



前年同期比	増減額	増減率
■ ストレージ	▲813	▲12.0%

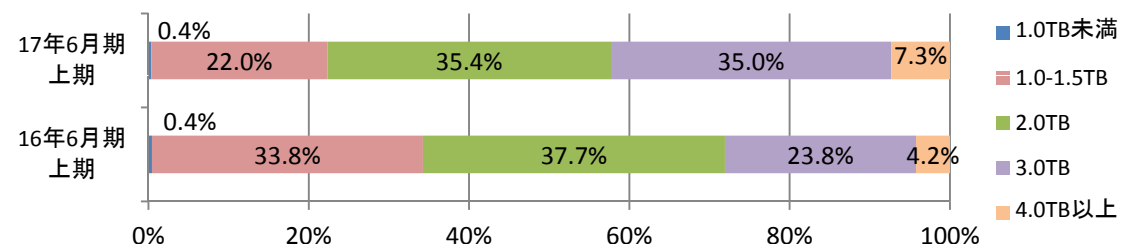
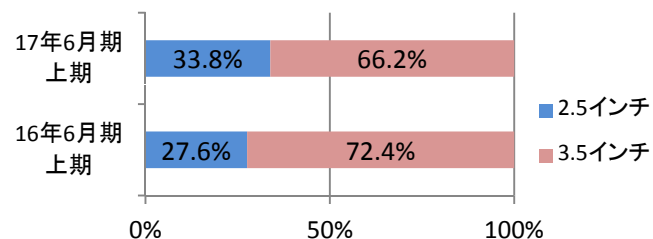
当部門全体の台数・単価の増減推移



前年同期比	増減率
● 販売台数	▲8.1%
● 販売単価	▲4.3%

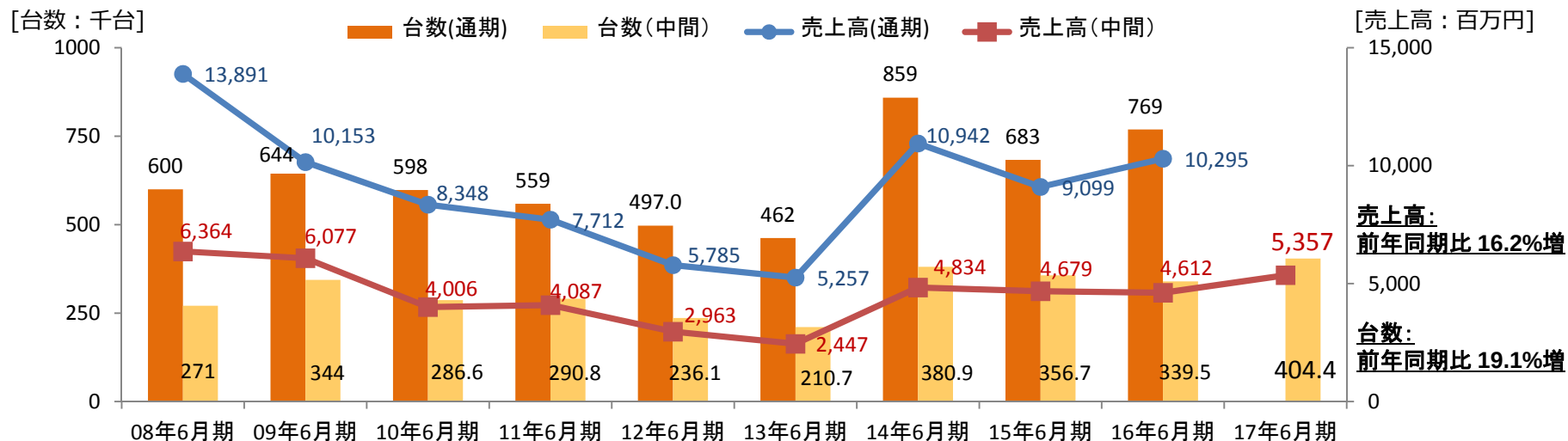
※16年6月期上期と17年6月期上期の比較

外付HDDのサイズ・容量(3.5インチのみ)の内訳 [販売台数]

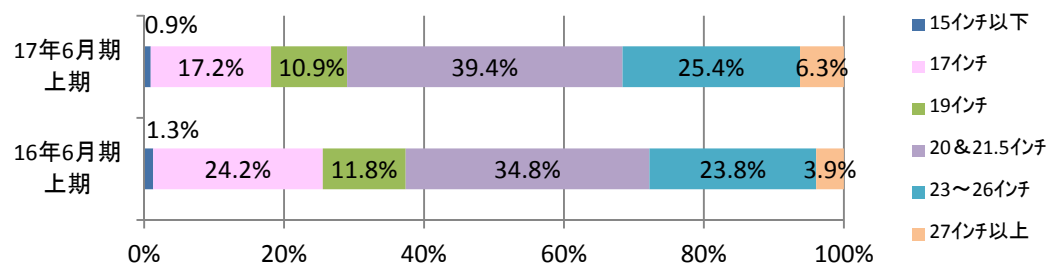
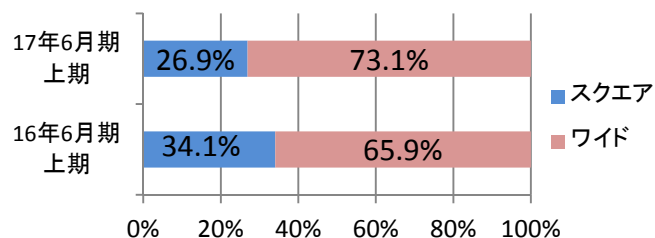


ラインナップや販路のウィークポイントの改善・強化に努めた他、作業に応じて高さや角度調整等ができる「フリースタイルスタンド」モデル、大型TVをタッチパネルディスプレイにできるオプション「てれたっち」を発売する等、新展開も開始。

売上高の推移



LCDの型・サイズ別内訳 [販売台数]



国内PC用モニターメカ別数量シェア
/GfK JAPAN調べ

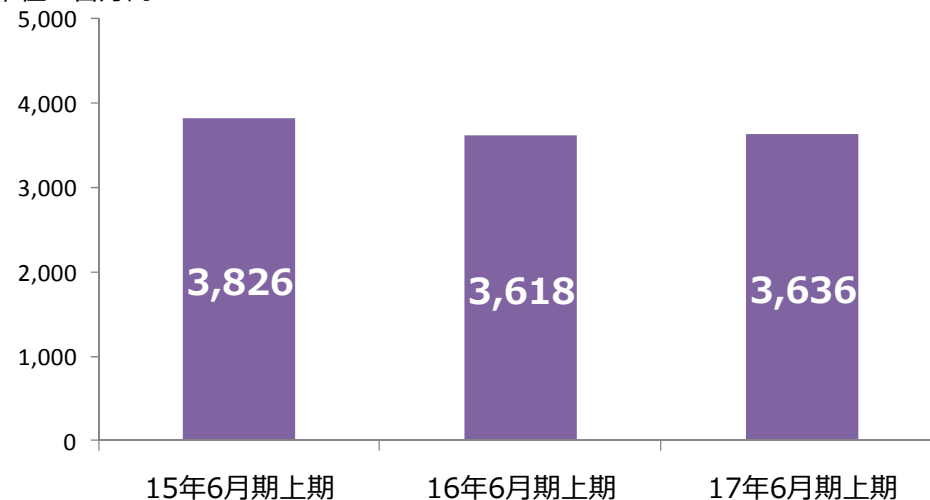
マルチメディア・AVeL（映像関連分野）：

次世代ネットワークTVチューナー「REC-ONシリーズ」の普及に励むも、PC増設チューナーモデルの不振が響き減収。

ネットワーク分野： 無線LAN・NAS共に、ラインナップ強化に伴い増収。
新たにIoT市場開拓に着手。

売上高の推移

単位：百万円



前年同期比	増減額	増減率
■ 周辺機器	18	0.5%



特注部門

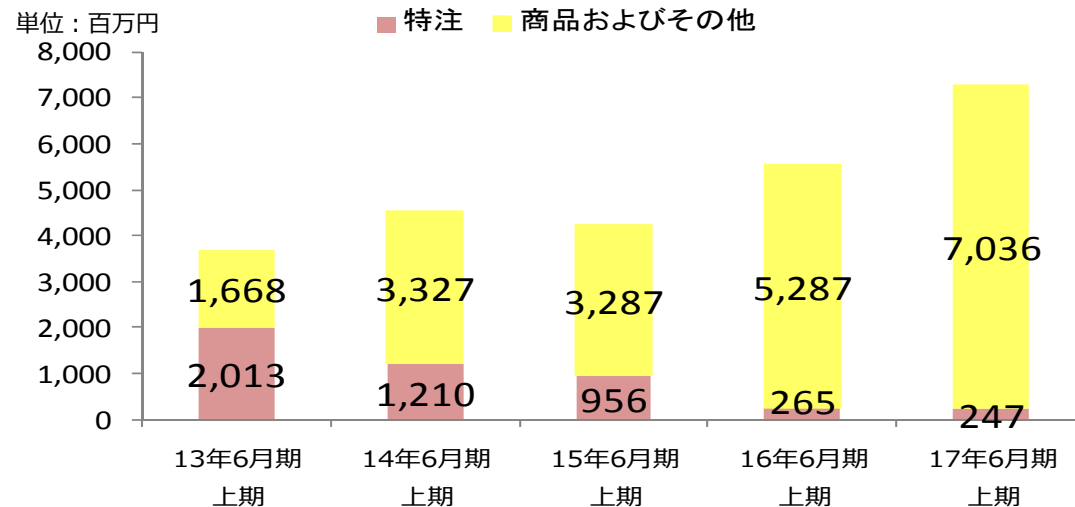
概ね堅調な受注に支えられ推移するも前期実績に届かず。

商品および その他部門

好調なサムスン電子のSSD、WDのストレージの販売に加え、前期後半より続く光ディスクメディアを中心にしたVerbatimの販売伸張により、前年実績を大幅に上回る。

売上高の推移

単位：百万円



前年同期比	増減額	増減率
商品・その他	1,749	33.1%
特注	▲18	▲6.8%

> 商品、その他 Creative商品



SAMSUNG SSD、Galaxyワイド



* SSDは子会社ITGマーケティング㈱にて販売

Verbatim商品



WD 外付ハードディスク、NAS



インテル® スティック型パソコン



2017年6月期通期の業績予想

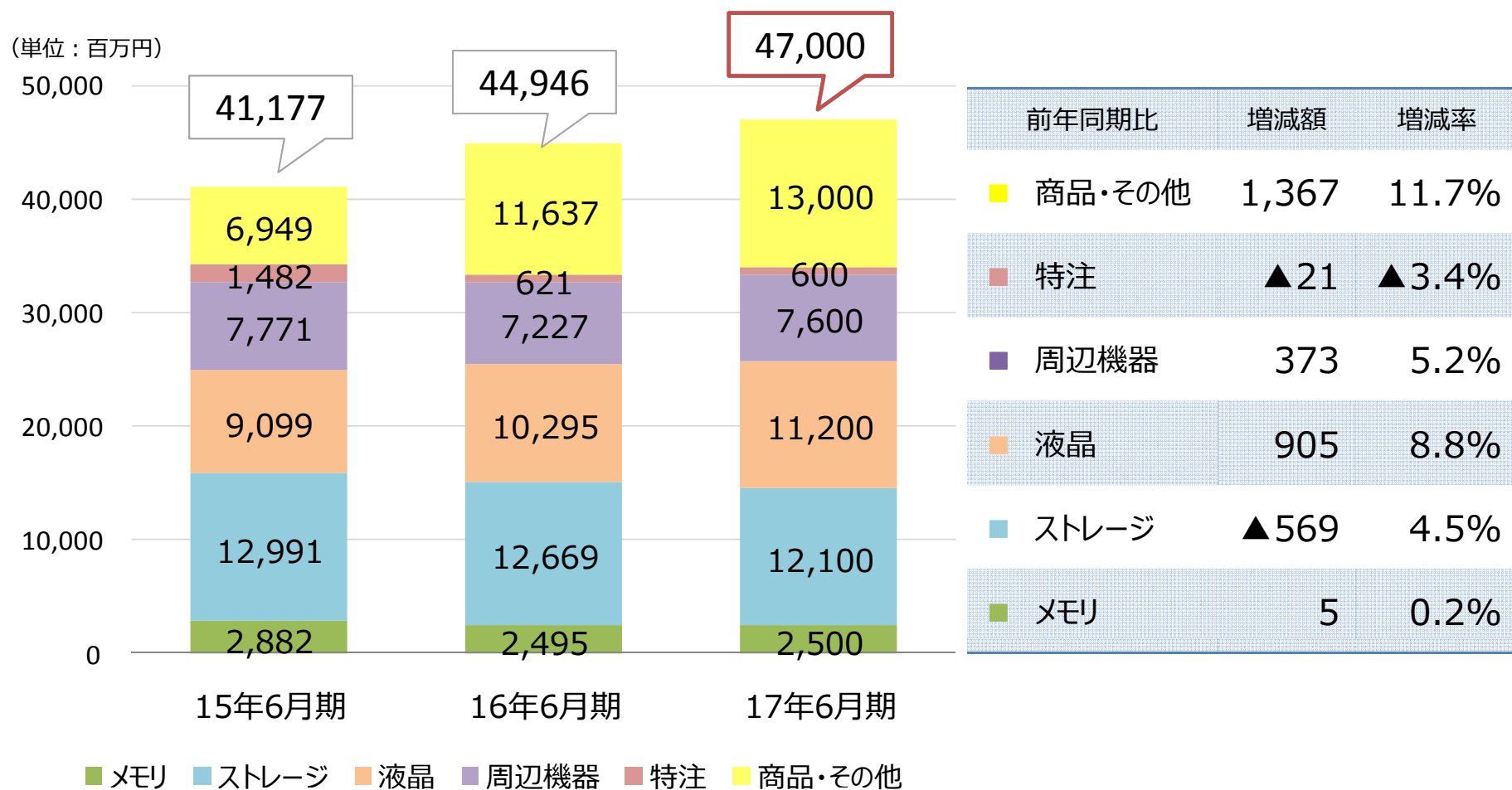
2017年6月期 損益計算書 (予想)

(単位：百万円)

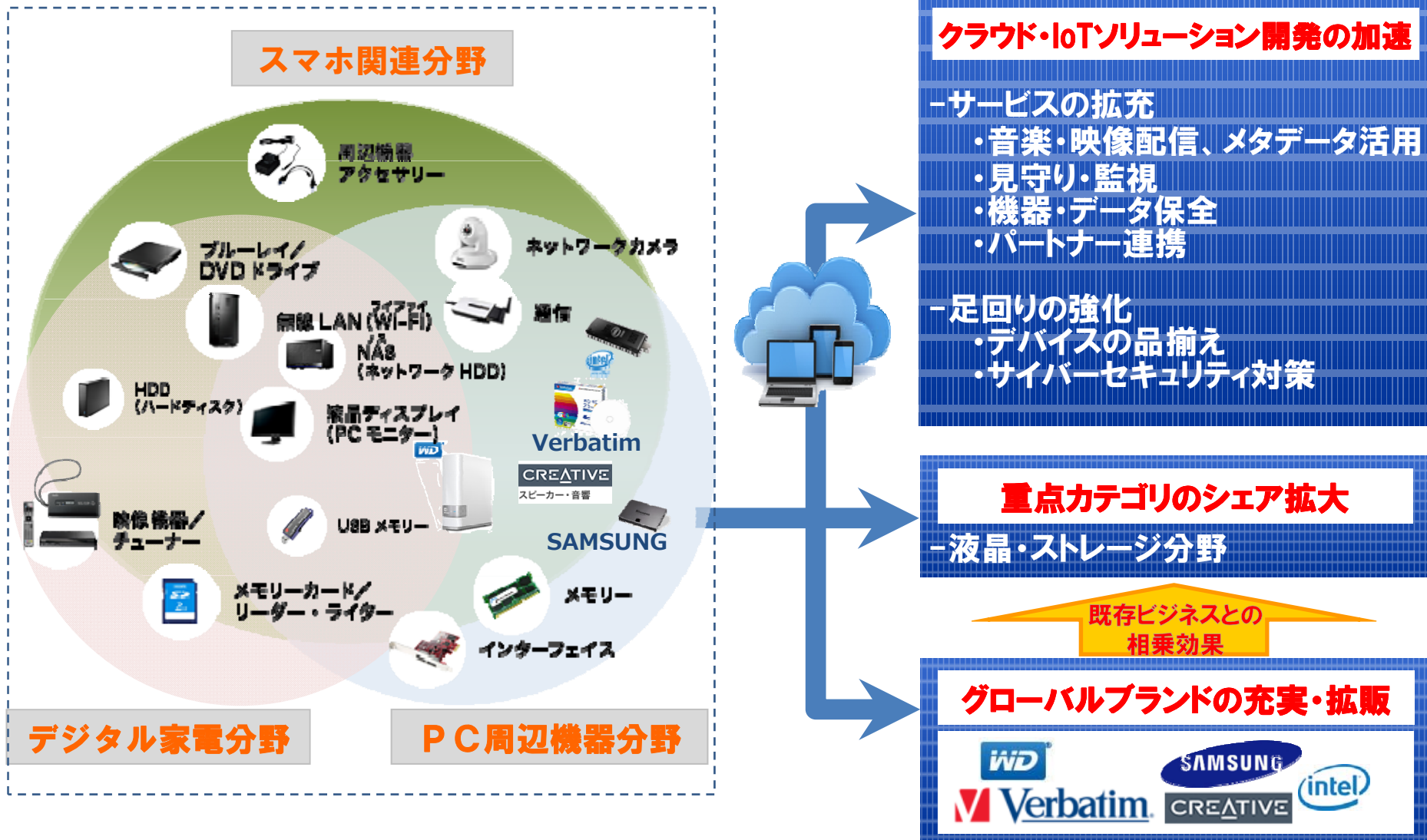
	2016年6月期 金額 (構成比)		2017年6月期 金額 (構成比)		前年同期比較 増減額 (増減率)		主な増減要因
売上高	44,946		47,000		2,054	(4.6%)	・上期好調な液晶モニターやグローバルブランド商品の通期増収を見込むと共に、ネットワーク関連製品の新ラインナップの売上上積みを見込む。
売上総利益	7,931	(17.6%)	9,350	(19.9%)	1,419	(17.9%)	・足下の円安水準が継続することを前提に、下期は原価率が高まる見込みながら、進捗と増収見込みを踏まえ、通期増益を確保。
販売費及び一般管理費	6,781	(15.1%)	7,400	(15.7%)	619	(9.1%)	・注力する新分野向けを中心にした研究開発費の増額の他、変動費、人件費等の増加を見込む。
営業利益	1,149	(2.6%)	1,950	(4.1%)	801	(69.6%)	
経常利益	1,334	(3.0 %)	1,950	(4.1%)	616	(46.2%)	・営業外収益、営業外費用については、定常発生額のみを想定。
親会社株主に 帰属する 当期純利益	849	(1.9%)	1,400	(3.0%)	551	(64.8%)	・特別利益、特別損失は見込まず。税金費用と少数株主利益に550百万円を見込む。

- ・為替レートの想定 : 1ドル112円
- ・研究開発費の予想 : 1,360百万円 (前年同期比 +329百万円)
- ・設備投資の予想 : 800百万円 (前年同期比 +605百万円) ※期末に基幹情報システムの更新を予定
- ・減価償却費の予想 : 230百万円 (前年同期比 ▲12百万円)

2017年6月期 部門別売上高（予想）



注力分野



自前主義に囚われず、他社商品・インターネットサービスを柔軟に取り入れ、魅力的なソリューション開発に取り組んでいます。



音楽CDを直接スマホやタブレットに取り込める！

NEW

新しいCDレコシリーズ

世界初

Lightning接続

iPhoneユーザーにおすすめ。
添付のケーブルで接続することでCDを取り込む決定版。

Made for
iPod iPhone iPad

iTunesやダウンロードした曲も楽しめる

Wi-Fi接続&USB接続

iPhoneとAndroid両方をお持ちのご家族におすすめ。

CDレコ



これまでのCDレコシリーズ



2014年4月
初代CDレコ 発売



2014年8月
CDレコ Wi-Fi 発売



2015年8月
DVDミレル 発売

CD情報やニュースが読める「CDブックレット機能」が追加で音楽をより楽しめる！

■ 情報サービス

取り込んだCDの発売当時に書かれた解説が閲覧可能

- アーティストに関するニュースをデیلیーで配信
- アーティストが過去発表したディスコグラフィを一覧表示

CDJournal

プロフィール



アーティスト解説:
アイオーの名で親しまれる日本のグループ。1976年1月10日結成。「Drum Scanner」でデビュー。地元石川県の活動を経て1988年「ZO・SE・TSUメモリー」のヒットで脚光を浴びるようになった。実直な歌詞と個性的なヴォーカル、軽快なサウンドが当時の若者に支持され、日本を代表するペリフェラルメーカーのひとつとして活動中。

ニュース

CDJournal

下坂つじ、大蔵 由比、水沢このは出演「KONG SUPER...」
2017年3月5日（日）に、コングレコード主催のライブ・イベント「KONG SUPER LIVE 2017 I-O」がさいたまスーパーアリーナ...

CDJournal

デビュー40年を迎えたI-O DATA Device Inc.がファン...
2017年1月10日にデビュー40年となったI-O DATA Device Inc.がファン感謝イベント「I-O FANの集い 2017」を開催することが...

CDJournal

40年記念ベスト発売！I-O DATAがランキング10位獲得...
40周年を迎え、CD5枚組の豪華版ベストBOXを発売したI-O DATA Device Inc.が発売週のアルバムランキングで見事10位を獲得...

■ 再生回数ランキング

自分と同じ年代のユーザーが今どんな曲を聴いているかランキングで表示。

- 「デیلیー」、「ウィークリー」、「マンスリー」の上位100位を一覧表示

ランキング	
男性	20代 東京都
デیلیー	ウィークリー マンスリー
1	I-O BEST ZO・SE・TSU メモリー I-O Data Device Inc. 2016/08/24日発売 (20週目)
2	Trouble Version Up Graphics driver 2016/11/23日発売 (7週目)
3	トリアツカイセツメイショ かならずよんでね 裏野サボ 2016/08/24日発売 (20週目)
4	BLUE SINGER 週末 2016/08/24日発売 (20週目)

ネットワークカメラQwatchシリーズ、ラインナップ拡充

■ 5つのセンサーで暮らしを見守る！ IoTカメラ

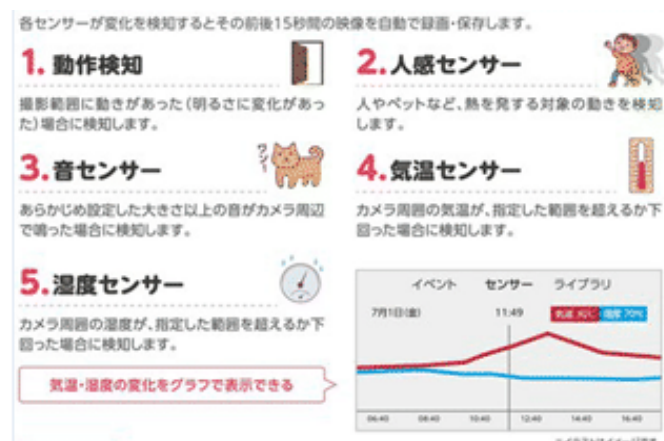
1 高画質だからはっきり見える



2 カメラの向こうと通話できる

3 薄暗い部屋もカラーで見られる！

4 5つのセンサーで自宅の変化をキャッチ！



5 検知したらスマホへお知らせ！

■ 室内を一望できる！ 180°パノラマビューカメラ

NEW



TS-WRFE
¥19,900
(2月下旬発売予定)

Qwatchシリーズ 充実のラインナップ



TS-WRLP
¥17,600



TS-WPTCAM2
¥26,300



TS-WRLC
¥10,000



TS-WLC2
¥12,000

次世代ネットワークテレビチューナー普及に挑む

おすすめラインナップに新たな製品を追加！



タブレットやスマホ
でTVを楽しむ！



NEW

HDDセットモデル

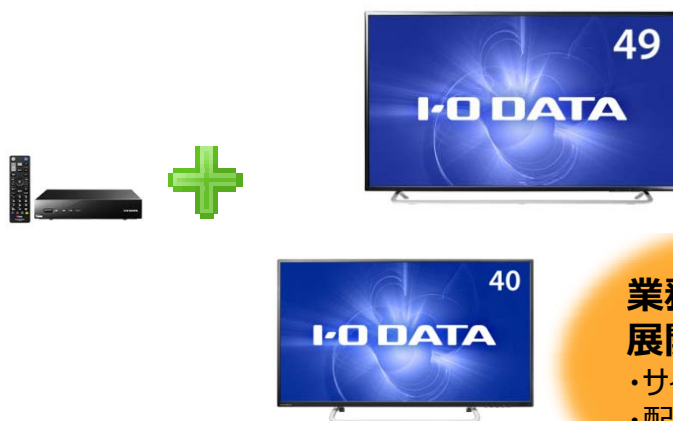
長時間
録画

HVTR-T3HDシリーズ



3番組
同時録画

チューナーに大型モニターとセットでテレビを楽しむ！



業務用途への
展開も視野に
・サイネージ
・配信システム等

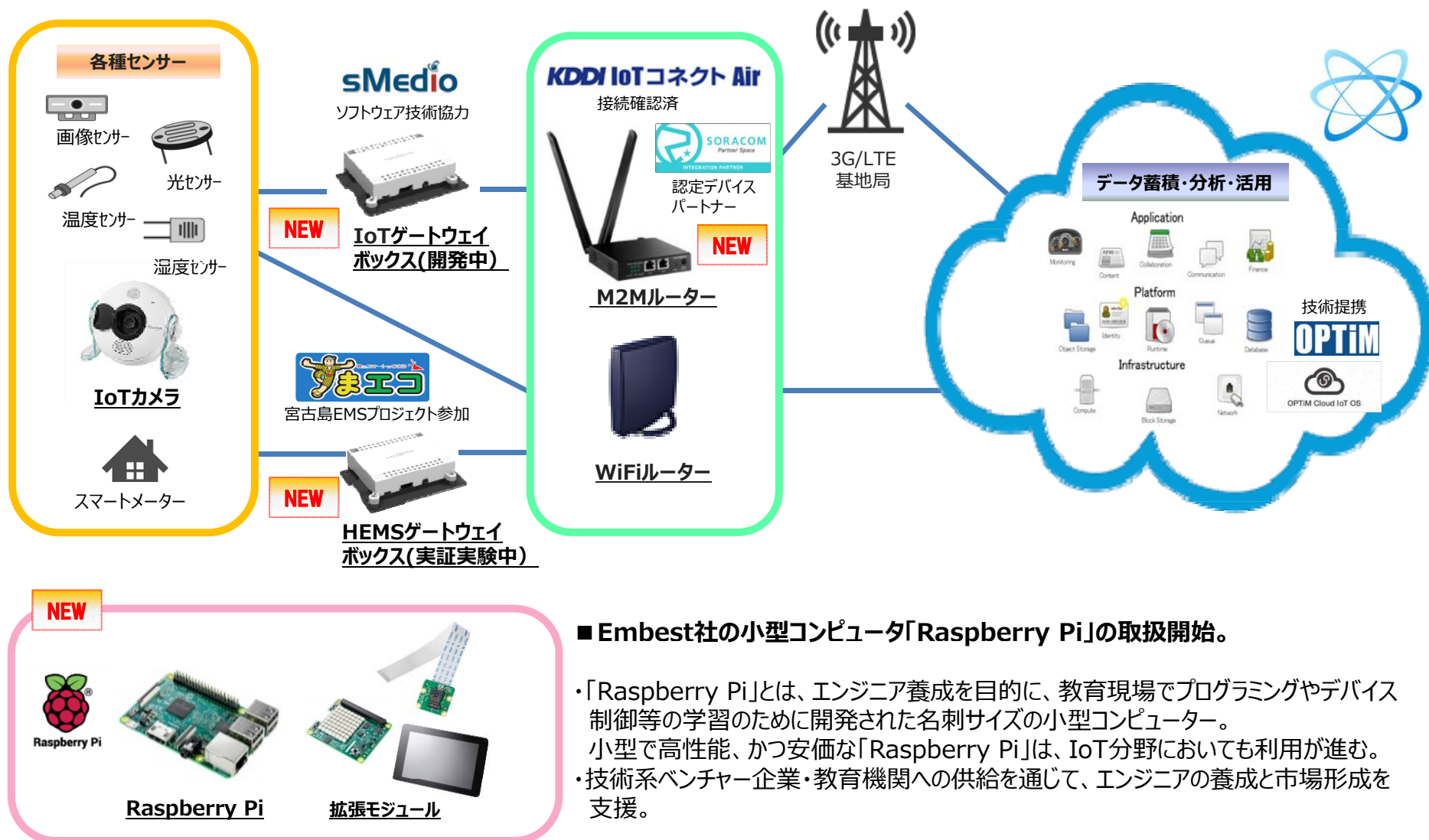
「テレリモ」アプリで、TVも一緒にお出かけ！



録画番組をスマホへ
手軽にダビングできる！



IoT分野の取組み



新しいNASで安心&快適

- サイバーセキュリティ犯罪、ランサムウェア対策にもバックアップが有効
- 経年劣化による故障リスク対策にNASリプレイスをご提案

個人&小規模オフィス向け「超高速ビジネスNAS」登場！

NEW



LAN DISK A

- 個人向けの高速度・多機能モデル。
- 写真や動画など、大容量のデータをパソコンやスマホ、タブレットとシームレスに共有、バックアップ可能。

古いNASの
買い換えに便利！
データコピー機能

必要な機能を
追加して進化する！
「パッケージ機能」



「3つの安心」でビジネスをしっかりサポート！



高性能CPUと「WD Red」を搭載したスタンダードビジネスNAS登場！

NEW



LAN DISK X

- 定評のあった「LAN DISK XR」の後継としてモデルチェンジ。
- バックアップの信頼性にこだわり、RAIDの他、独自の冗長化技術「拡張ボリューム」を搭載。

古いNASの
買い換えに便利！
データコピー機能

必要な機能を
追加して進化する！
「パッケージ機能」

買い替え 3つのサポート



ラインナップの充実、信頼の保証

■ オフィス向けから先進の映像視聴分野まで、より広く・よりきめ細やかなニーズにお応えしてまいります。

4 K 大型モデル



ワイドモデル



タッチパネルモデル



ゲーミングモデル



広色域モデル



スクエアモデル



快適オフィス ストレスフリー設計

- ディスプレイの位置を自由自在に変えられる「フリースタイルスタンド」
- 目に優しいブルーリダクション
- バックライトのちらつきがないフリッカーレス
- 長時間使用を防ぐ V D T モード



ディスプレイオプションの充実

- タッチモジュール（てれたっち）



- Compute Stick



- ディスプレイアーム
- マルチドッキング
- USBグラフィック
- ネットワークグラフィックアダプター 等

サイネージアプリ
「時間割看板」



デジタルサイネージ

サポート体制、さらに充実





WD × I-O DATA

ウエスタンデジタル
WDのHDDを
アイ・オーが国内サポート!

世界シェアNo.1*のWD外付けハードディスクが
一層安心してお求めいただけます。

※IDC 2016年2月のレポートに基づく(販売台数)



- WD®社パーソナルクラウドストレージ
- WD®社ハードディスク



40年以上の歴史をもつ
世界が認める信頼の Verbatim

※2005年～2014年 記録型CD/DVDの総販売数量で、ブランド別世界シェア10年連続No.1
(SCCG、JRIAのデータより算出)



LED電球(一般電球/ボール電球)

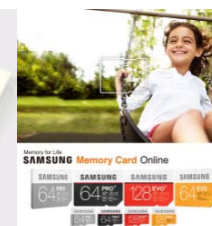


M-DISC BD(録画用) DVD(データ用・録画用) CD (データ用・録音用)

※一般に、会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。



■ SAMSUNG SSD&メモリーカード



BCN AWARD「SSD部門」
3年連続最優秀賞受賞



■ Galaxy周辺デバイス



スピーカー

ヘッドセット

サウンドカード



オススメ取扱商品 インテル® Compute Stick

スティック型パソコン「インテル® Compute Stick」

スティック型パソコン「インテル® Compute Stick」とは?

コンパクトなボディの中にパソコンの機能を詰め込んだスティック型「インテル® Compute Stick」(コンピュータスティック)。今お使いのテレビやディスプレイに接続するだけで、すぐにインターネットを申し込める「パソコン」として利用できるようになります。しかも超小型のインテル® Atom™ プロセッサと、その高いパフォーマンスと使い勝手が大きな魅力です。

お使いのテレビやディスプレイに接続するだけで、すぐに使える!

パソコンに準拠したHDMI端子に接続するだけで、すぐに使える!

※接続、電源供給が必要です。

1. 本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定は皆様ご自身のご判断で行うようお願いいたします。
2. 本資料中の業績予想ならびに将来予測に関する記述は、当社が資料作成時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済情勢の変動や予測不可能な不確定要因の影響を受けます。従って、実際の業績は本資料中の予想に関する記述とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。
3. 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

進化する明日へ
Continue thinking

I-O DATA